

開催主旨

ジャパンパッケージングコンペティション（JPC）展は、1962年より開催されており、我が国でもっとも長い歴史を誇っています。パッケージデザインは近年その重要性がますます増大していて、豊かな暮らしを実現するための新しい開発・提案が求められています。

JPC展は、商品化されたパッケージを広く募集し、優秀な作品を顕彰します。また、受賞作品展を開催して情報提供することで、今後のパッケージデザインの発展に寄与し、もって社会に貢献したいと考えています。



2018 経済産業大臣賞
KOIKEYA PRIDE POTATO（株式会社湖池屋）



2018 経済産業大臣賞
スマートホルダー＆ラクラク ecoパック（花王株式会社）



2018 日本パッケージデザイン協会賞
ポーラVリゾネイティッククリーム（株式会社ポーラ）



2018 日本包装技術協会賞
クイックルファイバーウェットシート（花王株式会社）

審査の特徴

近年、パッケージデザインには、使いやすさや美しさなど従来の機能に加えて、安心・安全、環境への配慮、あるいは新たなマーケティング企画など多様な要求がなされています。審査は、こうしたさまざまな要求がパッケージにいかに関与され表現されているか、多角的かつ総合的に評価します。



多彩な審査員

審査員は、学識経験者を始めとして、後援いただいている団体の代表者、デザイナーで構成されています。それぞれの専門的立場から、あるいは消費者目線から、パッケージに現れた特徴を多角的に見ます。

賞の数々

最高の賞である「経済産業大臣賞」2点、以下「経済産業省製造産業局長賞」2点、「経済産業省商務情報政策局長賞」3点、協賛いただいている「公益社団法人日本パッケージデザイン協会賞」、「公益社団法人日本包装技術協会賞」、「公益社団法人日本マーケティング協会賞」、「一般社団法人日本プロモーション・マーケティング協会賞」、「日本百貨店協会賞」、「一般社団法人日本印刷産業連合会会長賞」5点、「部門賞」20部門、そして奨励賞若干数の多くの賞が用意されています。

授賞式

授賞式は毎年4月に開催されます。受賞された方々には経済産業省や協賛団体代表者から賞状と記念品が贈られます。授賞式後には記念写真を撮影する場を設けていますので、受賞の喜びを共有する SNS や社内報で活用いただけます。また、受賞の皆様、審査員の方々とが参加する懇親会が開かれます。懇親と情報交換の場として好評をいただいています。



授賞式



記念写真撮影

展示会 東京展／大阪展

毎年、授賞式開催の4月に「日本印刷会館」で受賞作品ならびに応募全作品を展示しています。また「平和紙業ペーパーボイス大阪」で受賞作品展を開催しています。2015年から毎年10月頃に「印刷博物館 P&P ギャラリー」で『現代日本のパッケージ』展が開催され、JPC 受賞作品の多くが展示されています。また、2018年7月には日本最大の印刷機材展である IGAS2018 が東京ビッグサイトで開催された際に、JPC 受賞作品が展示されました。

JPC 授賞式や展示会の様子は、各種メディアでも報道されますので、受賞は企業の広報にも貢献すると思われます。



印刷博物館 P&P ギャラリーでの展示



日本印刷会館での展示



IGAS2018 での展示

ホームページでの紹介

日本印刷産業連合会ホームページには、主催コンクールのコーナーがあり、そこに『ジャパンパッケージングコンペティション（JPC）展』のセクションがあります。ここで、受賞作品の紹介と表彰式の様子および募集要項が掲載されています。また『現代日本のパッケージ』展（「印刷博物館 P&P ギャラリー」で開催）の情報もご覧いただけます。



https://www.jfpi.or.jp/topics_detail6/id=34



主催 一般社団法人
日本印刷産業連合会

〒104-0041 東京都中央区新富 1-16-8 日本印刷会館内
TEL 03-3553-6051 FAX 03-3553-6079 <http://www.jfpi.or.jp/>